



今回、議会広報が新町発足以来50号発行の節目を迎えました。平成17年1月1日に誕生した飯南町の議会は、合併時の在任特別で25人の議員、その中から初代議長に那須穂土輝氏が選任され始動。同年7月の選挙で議員数は14人になりました。続く平成21年には12人、平成25年には現状の10人になりました。議長は、那須氏に続き、平成25年から難波俊司氏、平成27年から現在の小野覚議長へと繋いできました。

四季折々の豊かな顔を見せる飯南町も、「いいところ」だけでなく「暮らしやすいところ」にしなければ、人口減少に解決は見出せません。この12年間、議会は町執行部のさまざまな提案を受け、執行の採否等を審議してきました。やって良かったと思える施設建設や事業もあります。しかし、すべてそうともいえず、さらに研鑽を積み、提案力の向上の必要性を感じるところです。この広報が配布された直後に、

議会議員選挙があります。引退する議員や新人の候補者もおられるようですが、ふるさと飯南町を暮らしやすい町にするため、町民の声をしっかりと届け、執行部とは是非々々で臨める議会が求められます。



平成26年4月18日 第37号

平成28年10月20日 第47号

平成29年4月20日 第49号



平成17年4月20日 創刊号



平成25年10月18日 第35号



平成23年4月20日 第25号



平成20年7月18日 第14号



平成18年10月20日 第7号

平成29年 6月定例会終わる

6月6日から16日までの11日間で開催

本年3月に制定された「農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例」に基づき、14人の農業委員と同人数の農地利用最適化推進委員が選任された。

農地の適切な運用が図られ農業が健全な発展を遂げられるよう委員の皆さんのご活躍を期待する。

予算では、昨年に続き有害鳥獣から農地を守るため、ワイヤーメッシュ設置等への支援が拡充された。今年度は22地区で取り組まれる。

飯南高校へ県外から入学している生徒をサポートするホストファミリー制度による活動が進展している。集会所へ風呂を増築し、生徒とその家族が宿泊できるようにし、交流の拡大を図る取り組みに助成を行う。

可決された主な議案

■ 条例関係

飯南町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定など4件

■ 承認

平成28年度飯南町一般会計補正予算(第8号)など5件

■ 予算

平成29年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など5件

■ 諸議案

農業委員会の委員の選任など14件

平成29年度琴引フォレストパークスキー場人口降雪機導入工事請負契約の締結など3件

■ 報告

議会の委任による専決処分の報告など2件

■ 議員提出議案

森林環境税(仮称)の早期創設と地方がおこなう森林整備対策の長期的安定的な財源確保を求める意見書

国道54号 赤名トンネル、晴雲トンネル改良に関する意見書

■ 陳情

町区大仙町水路の改修を求める陳情

飯南町頓原2265番地 代表 町区自治区長 信藤一郎

■ 審査委員会

教育経済常任委員会 採択

■ 審査結果

島根県森林組合連合会 代表理事会長 手銭白三郎

■ 陳情者

一般社団法人 島根県森林協会 会長 速水雄一
一般社団法人 島根県木材協会 会長 三吉庸善
飯石森林組合 代表理事組合長 立石 幸

■ 審査委員会

教育経済常任委員会 採択

■ 審査結果

小田真木自治振興協議会 会長 安部和昭
奥真木自治会 会長 桑原 武

■ 審査委員会

教育経済常任委員会 採択

【平成29年度 一般会計補正予算 698万円増額】

健康増進施設臨時管理費(加田の湯)、農作物鳥獣被害防止事業 堆肥センター臨時管理費(マニユアスプレッター導入)増額など

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	698万円	75億2865万円
特別会計		
簡易水道事業	△628万円	5億4825万円
下水道事業	△39万円	4億566万円
介護保険サービス事業	24万円	3266万円
飯南町病院事業	14万円	10億6363万円